



## 2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月13日

上場会社名 株式会社デ・ウェスタン・セラピテクス研究所 上場取引所 東  
コード番号 4576 URL <https://www.dwti.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日高 有一  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松原 さや子 (TEL) 052-218-8785  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年12月期第3四半期の連結業績 (2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2025年12月期第3四半期	百万円 297	% △14.9	百万円 △478	% —	百万円 △491	% —	百万円 △492	% —
2024年12月期第3四半期	348	11.1	△647	—	△665	—	△727	—

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 △492百万円 (−%) 2024年12月期第3四半期 △727百万円 (−%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年12月期第3四半期	円 銭 △10.75	円 銭 —
2024年12月期第3四半期	△21.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年12月期第3四半期	百万円 2,178	百万円 1,464	% 67.2
2024年12月期	1,669	733	43.9

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 1,463百万円 2024年12月期 732百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年12月期の連結業績予想 (2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 400	% △15.2	百万円 △670	% —	百万円 △680	% —	百万円 △680	% —

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |    |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：有 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | ：無 |
| ④ 修正再表示              | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

- |                     |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |
| ② 期末自己株式数           |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計）    |

2025年12月期 3 Q	53,139,712株	2024年12月期	41,625,512株
2025年12月期 3 Q	286株	2024年12月期	286株
2025年12月期 3 Q	45,850,730株	2024年12月期 3 Q	33,645,372株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況.....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
(4) 繼続企業の前提に関する重要な事象等 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(会計方針の変更に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは新薬の継続的な創出と開発パイプラインの拡充を目指し、研究開発活動を推進いたしました。

上市品（眼科手術補助剤「DW-1002」（単剤及び配合剤）、緑内障治療剤「グラアルファ<sup>®</sup>配合点眼液（以下、「グラアルファ」）」等）については、ライセンスアウト先において順調に販売されております。「グラアルファ」は、初の海外展開として7月にタイで販売開始されました。

開発パイプラインについては、ライセンスアウト済み開発品である「DW-1002」が2月に中国で承認取得いたしました。また、フックス角膜内皮変性症治療剤「K-321」は2つのグローバル第Ⅲ相臨床試験を実施しておりますが、3月と6月にそれぞれ被験者への投与を完了し、経過観察を行っております。共同開発品である神経疼痛治療薬「DW-5LBT」は3月に再申請を行い、9月に承認取得いたしました。現在、販売提携先の選定等の上市準備を進めおり、2026年前半に販売開始する計画です。さらに、自社創製品「H-1129」は7月に免疫異常を基盤とする角結膜疾患治療薬としてパイプライン化を決定いたしました。開発計画は決定次第、公表いたします。その他、各開発品についてもそれぞれ開発を進めました。

研究プロジェクトについては、眼科関連疾患を中心に新薬候補化合物の探索のための研究開発活動及び大学等との共同研究を推進いたしました。

以上の結果、売上高については、各上市品のロイヤリティ収入等により、合計297百万円（前年同期比14.9%減）を計上し、売上原価に30百万円（前年同期比11.3%減）を計上しました。

販売費及び一般管理費については、745百万円（前年同期比22.6%減）となりました。その内訳は、研究開発費が535百万円（前年同期比30.2%減、前期は「H-1337」の米国後期第Ⅱ相臨床試験を実施）、その他販売費及び一般管理費が人件費の増加等により210百万円（前年同期比7.6%増）となりました。

これらにより、営業損失は478百万円（前年同期営業損失647百万円）、経常損失は営業外費用に支払利息6百万円及び新株発行費6百万円を計上したこと等により491百万円（前年同期経常損失665百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は492百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失727百万円）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における新薬候補化合物開発状況は以下のとおりです。

#### ①上市品

製品名等			対象疾患	地域	ライセンスアウト先
DW-1002	ブリリアント ブルーG	ILM-Blue <sup>®</sup> 、TissueBlue <sup>™</sup>	内境界膜染色	欧州・米国等	DORC
	ブリリアント ブルーG／ト リパンブルー	MembraneBlue-Dual <sup>®</sup>	内境界膜、網膜上 膜及び増殖硝子体 網膜症における增 殖膜染色	欧州等	
リパスジル塩酸塩水和物 ／ブリモニジン酒石酸塩		グラアルファ <sup>®</sup> 配合点眼液	緑内障・高眼圧症	日本・アジア	興和

(注) グラナテック<sup>®</sup>点眼液0.4%は、アジア一部地域についてロイヤリティを受領いたしました。

#### ②開発パイプライン

開発コード等		対象疾患	開発段階	地域	ライセンスアウト先
K-321	リパスジル塩 酸塩水和物	フックス角膜内皮変性症	第Ⅲ相臨床試験	米国、欧州等	興和
DW-1002	ブリリアント ブルーG	内境界膜染色	承認	中国	DORC
			第Ⅲ相臨床試験	日本	わかもと製薬
	ブリリアント ブルーG／ト リパンブルー	水晶体前囊染色	第Ⅲ相臨床試験	日本	
DW-1001		内境界膜及び網膜上膜染色	申請準備中	米国	DORC
DW-1001		眼科用治療剤（非開示）	第Ⅰ相臨床試験	日本	ロート製薬

開発コード等	対象疾患	開発段階	地域	ライセンスアウト先
H-1337	緑内障・高眼圧症	後期第II相臨床試験	米国	自社開発
DW-5LBT	帯状疱疹後の神経疼痛	承認	米国	メドレックスと共同開発
DWR-2206	水疱性角膜症	第II相臨床試験	日本	アクチュアライズと共同開発
H-1129	免疫異常を基盤とする角結膜疾患治療薬（非開示）	臨床準備中	日本	自社開発

### ③研究プロジェクト

当社グループは、プロテインキナーゼ阻害剤を中心とした新薬候補化合物の創出を行っております。プロテインキナーゼを対象とする疾患は様々ですが、特に眼科関連疾患に注力した研究を推進しております。また、自社の創薬基盤技術を活かし、他社との提携を積極的に推進しております。

主なプロジェクトとしては、眼科関連疾患や神經系、呼吸器系疾患等を対象としたシグナル伝達阻害剤開発プロジェクトを当社研究所（国立大学法人三重大学の研究施設）において行っております。また、大学等との共同研究においては、当社開発品の適応拡大や眼科関連疾患を対象に複数のプロジェクトを進めております。

### (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

総資産は、前連結会計年度末から509百万円増加し、2,178百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末から542百万円増加し、2,018百万円となりました。主な要因は、第13回新株予約権の権利行使等により現金及び預金が527百万円増加したこと等によるものです。固定資産は、前連結会計年度末から33百万円減少し、160百万円となりました。主な要因は、契約関連無形資産が30百万円減少したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末から221百万円減少し、714百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末から87百万円増加し、220百万円となりました。主な要因は、「DW-5LBT」の支払マイルストーンが発生したこと等により未払金が76百万円増加し、1年内返済予定の長期借入金が27百万円増加したこと等によるものです。固定負債は、前連結会計年度末から309百万円減少し、493百万円となりました。主な要因は、第1回無担保社債の繰上償還により社債が302百万円減少したこと等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末から730百万円増加し、1,464百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が492百万円減少した一方で、新株予約権の行使等により資本金及び資本剰余金が各々612百万円増加したこと等によるものです。なお、第27期定期株主総会の決議に基づき、資本金1,173百万円、資本準備金2,647百万円をそれぞれその他資本剰余金へ振り替え、当該その他資本剰余金3,821百万円を利益剰余金に振り替え欠損填補を行いましたが、これによる純資産合計に変動はありません。

この結果、自己資本比率は67.2%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の通期連結業績予想につきましては、2025年2月10日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

### (4) 継続企業の前提に関する重要な事象等

当社グループは、創薬研究及び臨床開発費用が収益に先行して発生する等の事業特性上の理由から継続的に営業損失及びマイナスの営業キャッシュ・フローが発生しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

このような状況の解消を図るべく、当社グループは保有する開発パイプラインの順調な開発進捗による早期上市、開発パイプラインの拡充による更なる収益機会の獲得を進め、さらに、現在実施している資金調達を進めることにより研究開発に必要な資金を確保してまいります。

資金面においては、継続的なロイヤリティ収入及び開発費用のコントロール並びに主力金融機関からの借入、第三者割当による新株予約権の行使等、適時に実施している資金調達により、当第3四半期連結会計期間末において1,654百万円の現金及び預金残高を有し、当面の事業活動を展開するための資金は確保できております。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性はないと認識しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	1,126,035	1,654,031
売掛金	125,023	144,151
貯蔵品	101,961	102,386
その他	122,361	117,676
流动資産合計	1,475,382	2,018,245
固定資産		
有形固定資産	11,192	9,727
無形固定資産		
契約関連無形資産	41,142	10,285
その他	3,290	2,589
無形固定資産合計	44,432	12,875
投資その他の資産		
その他	151,042	149,607
貸倒引当金	△12,606	△11,723
投資その他の資産合計	138,436	137,883
固定資産合計	194,061	160,486
資産合計	1,669,444	2,178,731
<b>負債の部</b>		
流动負債		
1年内返済予定の長期借入金	19,048	46,548
未払金	84,904	161,760
未払法人税等	14,876	1,196
その他	13,818	10,968
流动負債合計	132,646	220,473
固定負債		
社債	302,500	—
長期借入金	476,428	469,642
その他	24,000	24,000
固定負債合計	802,928	493,642
負債合計	935,574	714,115
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,203,277	642,004
資本剰余金	3,261,516	1,225,597
利益剰余金	△3,732,678	△404,193
自己株式	△0	△0
株主資本合計	732,115	1,463,407
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△34	△144
その他の包括利益累計額合計	△34	△144
新株予約権	1,788	1,352
純資産合計	733,869	1,464,615
負債純資産合計	1,669,444	2,178,731

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	348,913	297,097
売上原価	33,885	30,062
売上総利益	315,028	267,034
販売費及び一般管理費		
研究開発費	767,463	535,424
その他	195,212	210,061
販売費及び一般管理費合計	962,675	745,485
営業損失(△)	△647,647	△478,450
営業外収益		
受取利息	76	1,560
為替差益	—	758
貸倒引当金戻入額	61	883
その他	14	103
営業外収益合計	152	3,305
営業外費用		
支払利息	3,548	6,078
株式交付費	1,502	3,255
支払手数料	140	9
新株発行費	8,686	6,008
その他	4,014	1,022
営業外費用合計	17,892	16,374
経常損失(△)	△665,387	△491,520
特別損失		
転換社債償還損	60,612	—
特別損失合計	60,612	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△725,999	△491,520
法人税、住民税及び事業税	1,196	1,196
法人税等合計	1,196	1,196
四半期純損失(△)	△727,196	△492,716
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△727,196	△492,716

## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純損失(△)	△727,196	△492,716
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△107	△109
その他の包括利益合計	△107	△109
四半期包括利益	△727,303	△492,826
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△727,303	△492,826
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (会計方針の変更に関する注記)

## (法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日）、「包括利益の表示に関する会計基準」（企業会計基準第25号 2022年10月28日）及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」

（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日）を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

## (セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

当社は、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）

当社は、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年3月25日開催の第27期定時株主総会決議に基づき、2025年5月1日付で、資本金及び資本準備金の額の減少を行ったうえ、その他資本剰余金に振り替え、増加したその他資本剰余金の全額を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損填补を行っております。

この結果、資本金が1,173,277千円及び資本準備金が2,647,923千円減少し、繰越利益剰余金が3,821,200千円増加しております。

また、当社が2024年6月3日に発行いたしました第三者割当による第12回新株予約権（行使価額修正条項付）及び当社が2025年7月31日に発行いたしました第三者割当による第13回新株予約権（行使価額修正条項付）の行使による払込により、資本金及び資本準備金がそれぞれ587,073千円増加しております。

さらに、2025年5月13日を払込期日とする譲渡制限付株式報酬としての新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ24,931千円増加しております。

これらにより、当第3四半期連結会計期間末において資本金が642,004千円、資本準備金1,225,597千円、繰越利益剰余金が△404,193千円となっております。

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	36,813千円	35,550千円

## (重要な後発事象)

## (新株予約権行使による新株式の発行)

当社が2025年7月31日に発行いたしました第三者割当による第13回新株予約権（行使価額修正条項付）の一部について、2025年10月1日から2025年11月12日までの間に以下のとおり行使されております。

## 第13回新株予約権

1. 新株予約権の行使個数	10,720個
2. 発行した株式の種類及び株式数 普通株式	1,072,000株
3. 資本金の増加額	53,541千円
4. 資本準備金の増加額	53,541千円